

『オリコンと東芝 東京都港区で実証事業 コミュニティバスのEV化へ』

コミュニティバスのEV化へ

オリエンタルコンサルタンツと東芝は、東京都港区でコミュニティバスの電気自動車（EV）化実証事業を実施する。低炭素型公共交通として、EVバスの活用が可能であることを実証するとともに、蓄電池のリユースなど設備機器の実用性を確認する。事業期間は12年度から3年間。環境省が募った12年度地球温暖化対策技術開発・実証研究事業に採択されている。

東京都港区で運行しているコミュニティバス（ちいばす）の路線を活用し、EVの技術特性に応じた交通運用プランを探索。EVを円滑に運行するための都市空間設計、道路などのインフラ建設についても検証。継

オリコンと東芝 東京都港区で実証事業

続的にEVバスを運行するための優遇制度、良好な資源循環などの制度設計も優れた技術を保有する企業連携も視野に検討する。

両社は、実証事業を通じて蓄積する知見を国内外に展開し、交通ソリューション事業やスマートコミュニティ事業の拡大につなげる。

東芝は、急速充電が可能で長寿命が特徴の二次電池（SCiB）、定置用蓄電池などの実用性などで情報を集め、技術改良につなげる。オリエンタルコンサルタンツは、交通運用プランの立案などを担当し、バス事業者が導入しやすいEVバスのソリューションを確立する。